

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	夢をはぐむ高校教育推進事業	事業番号	038-042
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育
		部	学校指導
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成			
			有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	目標値	—	
		寄与するKPI	有	取組	総合的な学力の育成			
			有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	■堺市教育大綱、第2期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	平成 20 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法、学校教育法、高等学校設置基準		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■堺高等学校への進学を希望する大阪府内の中学校3年生と堺高等学校在籍生徒及びその保護者（令和2年度オープンスクール等に参加の中学3年生431名、堺高校在籍生徒数828名）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■専門性の高い教育をとおして生徒一人ひとりの個性と能力を引き出し、生徒の進路目標を実現するための教育を展開し、本市はもとより様々な分野や国際的に活躍する人材を育成するとともに、市民からの信頼に応え、地域と連携した教育を進める。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	■各々の専門性の深化・充実や、大学等の高等教育につながる学力の向上などを進めるため、科学的な思考や創造力を高める教育、体験的で実効性をともなう教育、企業・大学など外部機関と連携した教育など、多様な教育を実践する。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	■委託業者への委託と海外研修派遣生徒への補助
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標	点検年度	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度		
	生徒対象の学校評価アンケートにおいて、「堺高校を選んでよかった」と回答した生徒の割合	%	目標値	-	75	85	85	
			実績値	74	81			
			達成率	-	108%			
	当該指標を選定した理由	■教育内容の総合的な充実の度合いを測るため、アンケートで「堺高校を選んでよかった」と回答した生徒の割合を指標とした。						
	目標値の設定根拠・算出方法	■令和2年度は目標値を大きく上回ったので、上方修正した。 ■「堺高校を選んでよかった」と回答した生徒の回答数を全回答数で割った割合を指標とした。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標			
			令和元年度	令和2年度	令和3年度			
	4年制大学及び短期大学への進学率	%	目標値	40	40	40		
			実績値	25	31			
			達成率	63%	78%			
	当該指標を選定した理由	■理数教育、英語教育の充実の度合いを測るため、大学進学率を指標とした。						
	目標値の設定根拠・算出方法	■大阪府の高校卒業後の大学短大進学率（約60%）に対して、堺高校は実業系専門学科を持つ高校であることを考慮し、目標値を設定した。 ■4年制大学及び短期大学への進学者数を卒業生数で割った割合を指標とした。						

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	夢をはぐくむ高校教育推進事業	事業番号	038-042
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	13,421	11,667	11,049	7,381	62,373	
13 財源内訳	国支出金		259	0	17,590	
	府支出金				34,100	
	市債					
	その他（子ども教育ゆめ基金繰入金）	500	500	500	0	500
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	12,921	11,167	10,290	7,381	10,183
14 人件費 (b)	6,560	6,480	6,560	6,560	6,560	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	19,981	18,147	17,609	13,941	68,933	

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源	
		事業費	うち一般財源				事業費	うち一般財源		
16 事業費内訳	■謝礼金	R2	決算	456	456	■実習機器等備品購入費	R2	決算	0	0
		R3	予算	1,648	1,389		R3	予算	52,481	1,050
	■海外交流関係（補助金、旅費など）	R2	決算	0	0	■会計年度任用職員関係（報酬、職員手当など）	R2	決算	2,488	2,488
		R3	予算	1,063	563		R3	予算	2,497	2,497
	■人材派遣委託料	R2	決算	1,747	1,747	■消耗品費	R2	決算	426	426
		R3	予算	2,057	2,057		R3	予算	504	504
	■高大連携業務委託料	R2	決算	256	256	■印刷製本費	R2	決算	104	104
		R3	予算	630	630		R3	予算	210	210
	■実習機器等修繕料	R2	決算	1,904	1,904	■負担金	R2	決算	0	0
		R3	予算	1,000	1,000		R3	予算	283	283

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		令和元年度	令和2年度
① 堺高校全日制生徒数	人	676	679
② 上記①にかかる年間経費	千円	18,147	13,941
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	26,845	20,532
備考（算出についての説明等）	堺高校全日制生徒数		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成果指標は目標値を上回り、活動指標は目標値には届かなかったものの前年度を上回るなど、一定の成果は挙げられており、効果は高かったと考える。 ■ 活動指標が目標値に届かなかったものの、授業改善及び進学指導の充実等により改善傾向が見られる。 ■ 新型コロナウイルス感染症の影響で、短期海外研修をはじめ、実施できなかった事業が多かったことにより、生徒一人当たりの年間経費は令和元年度に比べて減少した。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<ul style="list-style-type: none"> ■ 短期海外研修や海外からの研修生の受け入れ等ができなかったが、オンラインによる海外の大学生との交流事業実施等により、生徒の外国語および外国の文化への興味関心が高まり、学習意欲の向上につながることができた。 ■ 生徒一人ひとりが希望する進路目標を実現するため、外部講師を招聘しての講演や、府立大学の教員と大学院生によるプロフェッサーズセミナー等を実施したことで、生徒の学習意欲を高め、自己のキャリア形成の方向性と関連付けた専門教育の充実をはかることができた。 ■ 今後も、生徒一人ひとりの個性と能力を引き出し、生徒の進路目標を実現するための教育を展開し、本市はもとより様々な分野や国際的に活躍する人材を育成するとともに、市民からの信頼に応え、地域と連携した教育を継続する必要がある。
----	---